

(令和6年11月21日発表)

創刊90年 幼稚園紙芝居と高橋五山の世界展
たかはしござん

◆アピールポイント	<ul style="list-style-type: none">●教育紙芝居の生みの親である高橋五山の「幼稚園紙芝居」創刊90年を記念して実施します。●「幼稚園紙芝居」シリーズ18点（静岡福祉大学附属図書館及び高橋洋子氏所蔵）のほか、五山が愛用した紙芝居舞台（復元品）、その他の資料あわせて45点を一堂に展示します。●関東大震災から101年、高橋五山が子どもに伝えた大正大震災の被災写真を展示します。●この展示は五山の親族である高橋洋子氏の協力で実現します。
◆日時・期間	11月28日（木）から1月21日（火）まで ※休館日を除く
◆場所	清水興津図書館 展示コーナー（清水区興津本町825）
◆内容など	<p>高橋五山は、昭和10（1935）年に、現在の子どもに親しまれている紙芝居の元となった「幼稚園紙芝居」シリーズを創刊しました。</p> <p>創刊から90年の節目に、五山が戦前に紙芝居で西洋の童話「赤頭巾ちゃん」、「ふしぎの国アリス物語」を日本に紹介した軌跡と、日本固有の児童文化といわれる紙芝居を紹介する展示を行います。</p> <p>○高橋五山【明治21（1888）年～昭和40（1965）年】</p> <p>昭和6（1931）年に「全甲社」を立ち上げ、月刊絵本や漫画などを出版しました。高橋五山の紙芝居への想いは「紙芝居の芥川賞」ともいわれ、年間の最優秀紙芝居に贈られる「高橋五山賞」として、現在でも受け継がれています。</p> <p>○折り紙紙芝居・貼り絵紙芝居</p> <p>戦時下の物資が乏しくなった時代に紙芝居に使われた折り紙を紹介します。</p> <p>○大正大震災号</p> <p>五山は、大正12（1923）年に発生した関東大震災の被災状況を子どもに伝えるため、児童雑誌『ボッチャン』増刊号「大正大震災号」を、新聞社や出版社が被災している中で、震災後間もない約一月半後に発行しました。当時の被災写真等を展示します。</p> <p>【企画展説明】進藤令子氏（静岡福祉大学附属図書館図書課長） 在席期間：11月28日（木）午後1時30分から午後4時まで</p> <p>【図書館ウェブサイト】 https://www.toshokan.city.shizuoka.jp/lib-shimizuokitsu/exhibit/20241114-post_24.html</p>

別紙資料 有 ・ 無

【問合せ】清水興津図書館（清水区興津本町）
担当 杉山、春寄
電話 054-360-4311